

令和4年度 第6回 国府小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年2月24日（金）16：00～17：15

2 場 所 図書室

3 あいさつ

（委員長）今年度最後ですが、次年度につながるようよろしくお願いします。

（校長）一年間、保護者、地域の方に支えられて学校運営をすすめることができ、ありがとうございました。

4 協議内容

（1）子どもの様子について

- 行事・活動についてスライドにて紹介及び説明
- 第2回みえスタディチェック：芳しい結果ではない。
- 家庭学習チェックシート：土日を含めて、数値を記入。次年度学期に2回へ。

（2）学校関係者評価：説明

- 一つ一つ一生懸命に取り組まれている印象がある。
- 送る会の各学年の様子を見せてもらって1学年上がると成長するんだなあ実感した。
- 結果や成果が見えるようにしていくことも大切。その学年で学習したことを確実に定着させ、確かめていく取組が必要。
- 家庭の協力も必要だが、学校に来たら、みんなで、大人の力でなんとかしていきたい。

（2）学校生活の様子から

- 児童アンケートの結果説明
 - ・「自分にはいいところがある」が80%を超えていない。
 - ・高学年に読書離れの傾向がある。
 - ・中学校に入るとより図書室の利用が減るので読書習慣をつけていきたい。

（3）令和5年度について

- 年間計画，土曜授業（実施なし），ボランティア募集（まち協とも連携）
- 次年度委員選任（委員長継続，民生児童委員・自治会長枠変更あり）

（4）鈴鹿型コミュニティスクール推進コーディネーターより

- 中学校区として、共通の課題に向かって、9年間を見通した活動を議論していくことが必要。
- 地域に大事にされたという経験が子どもたちの地域への愛着につながるので、どんなことに取り組むのかは運営協議会で考えていく必要がある。
- 学校運営協議会と教職員が、双方の思いを聞き、同じ方向に向かって取組をすすめられるようにしていくことが大切である。そのうえで、地域にCSの理解を広げていく。

5 次回日程の確認

- 5月12日（金）16：00～令和5年度第1回学校運営協議会